

学校教育目標	○自ら学ぶ子 知:自ら進んで学習に取り組み、見方・考え方を働かせ、友達と協働して解決に向かって学び続ける子を育てます。(学び続ける子) 徳:多様な人のかかわりを通して思いやりの心をはぐくみ、自分や相手を大切にすることを育てます。(共に生きる子) 体:自分の体や心に関心をもち、健康的な生活を送ろうとする子を育てます。(健やかな子) 公:地域の材に学びながら地域に愛着をもち、地域に進んでかかわろうとする子を育てます。(浦島の子) 開:多様な人とのコミュニケーションを通して視野を広げ、持続可能な社会の創造に向け行動しようとする子を育てます。(未来を創る子)					
	学校概要	創立 100 周年	学校長 鳥山 真	副校長 長島 真弓	2 学期制	一般学級: 18 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 524 人	主な関係校: 浦島丘中学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	浦島丘中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的な取組
<課題解決能力> <自分づくりに関する力>	浦島丘中学校 浦島小学校 子安小学校 神奈川小学校	人とのつながりを大切にし、ねばり強く社会を生きぬく子 ・9年間で育てる子ども像を共通理解していくために、小中担当者会で取組について話し合ったり、年間2回の授業研究会を行ったりする。 ・児童生徒交流日等を通して、6年児童が中学校生活を理解し、スムーズに中学校生活をスタートできるようにする。 ・中学校吹奏楽部のコンサート鑑賞を通して、児童の中学校への理解を深める。

中期取組目標	○人、社会、未来とのつながりを大切にすることを育てます。 ・多様な人と学ぶ中から、人権意識の高い子どもを育てます。 ・意欲的に取り組む学びを通して自分の生き方を考え、持続可能な社会づくりを意識できる子を育てます。 ・地域で活動する人の姿から学び、地域とのつながりを大切にすることを育てます。 ・子どもたちの学びの充実のために、学校・家庭・地域で教育活動について見直します。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①新学習指導要領にあわせ、本校の「カリキュラムマネジメント」の作成を行い、浦島小の児童の実態に合わせたものにする。そのために、プログラミング教育や外国語教育等といった新しい分野の研修を積み重ねて反映すると共に、授業を伴った検証を行い、改善を進めていく。 ②新しい指導要領に基づいて、指導と評価を研究しながら、教育課程全体で育成を目指す資質・能力を意識し、教科等間の相互の関連付けや横断を図り、年間の学習プランを立て、実践し、改善する。
担当	
豊かな心	①あいさつへの意識高くもち、1年間継続的に取り組んでいくことができるよう、年間計画を立て児童が主体的に行えるよう、定期的な振り返りと目標設定をする機会をつくる。自尊感情を育てていくことできるように、人権的な視点やYPプログラムの考え方も取り入れた授業づくりが行えるよう、児童指導部から活動案を発信していく。 ②年間を通して定期的なたてわり活動を行い、異学年との交流を深め、他者との関わり方を学ぶとともに相手のことを考えて行動する力や思いやりの心を育む。
担当	
健やかな体	①児童自らが自分たちが健康に過ごすために大切なことを考え、行動に移していけるように工夫する。 ②いきいきタイムでは、長縄や短縄、ベース走に取り組み、運動への興味関心を高めるとともに、体力の向上と健全な心身の育成を図る。
担当	
児童生徒指導	①職員会議、児童指導部会での情報の共有を図るとともに、関係機関の協力を得て、本校の児童の実態に応じた研修を充実する。児童指導年間計画に基づき全校でぶれのない指導を行っていきながら、学年研などで定期的に振り返りを行う。
担当	
地域連携・学校運営協議会	①生活科や総合的な学習などで、地域の材を生かした学習に取り組み、地域に関わろうとする態度や大切にしようとする気持ちを育む。 ②年3回学校運営協議会を実施し、学校教育についての理解をより深めていただくとともに、協議会での意見を教育活動の改善につなげる。
担当	
特別支援教育	①さわやか教室や国際教室での「取り出し」指導を効果的に行い、配慮を要する児童の指導・支援を充実させる。 ②学校カウンセラーや関係機関との連携を活用した児童理解をもとに、個々の指導・支援を充実させたり、指導・支援の共通化を図ったりするとともに、指導の経過が確実に引き継がれるよう、個別の教育支援計画・指導計画等への記入機会を充実させる。
担当	
担当	
担当	
いじめへの対応	①対策委員会や児童指導部会で、未然防止のための学年風土づくりについて話題化し、学年に応じた具体的な取組を考える。②引き続き、認知したいじめ案件をしっかりと管理し、月1回の対策委員会で他学年の情報を共有し、学校全体の問題として解決に向け組織的に取り組む。
担当	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①年間を通してメンター研修を行い、授業力など教職員としての力をより高めていく。 ②全学年で教科分担制を取り入れ、授業づくりの力を高めたり、協働して学年経営にあたり、高学年ではチーム学年経営を取り入れ、より円滑な学校運営にあたる。 ③教育内容の精選と工夫に取り組む。
担当	